

クルーズ船カテゴリ別比較 最大船の推移等

1 クルーズ船 カテゴリ別比較表

	ラグジュアリー	プレミアム	カジュアル	当船・PW号
1泊当たり価格	3.5万～30万	2.5万～15万	1.8万～50万	1.5万～7万
客室グレード*1	S～SS	C～SS	D～SSS	D～S
格式	非常に高い	高い	低い(1部高い)	低い
ドレスコード	多い	有る	少ない	ほぼない
食事・ディナー価格	豪華 1食1.5～2万	高級 1食1～1.5万	やや高級 1食3千～4千 高級客室専用は豪華	普通 1食2～3千円 以前は廉価だった?
スペシャルスナック	少ない	多い	非常に多い	少ない(2件)
主たる船規模*2	小～中型船	中型～大型船	大型～超大型	中型7.7t
全体の占有率	5%程度 小	5%程度 小	90%程度 極大	—
客・船員割合	1:1.2～1.8 サービスが 手厚く小型船が多い	1:1.5～2.5 やや手厚 い	1:2.5～3.5 大型船が多く 割合は小さめ	1:4程度 最低限のサ ービスで乗客の自主性
主たる客層	高齢者、上流階級	高齢者、やや多彩	ファミリー層含め多彩	高齢者、1人客が多い
主たる航路	多彩	多彩	多彩 世界1周なし	世界1周のみ
主たる船会社	キューナードライン・シルバーク ライン・クリスタルクルーズ	セブリティクルーズ・ホー ランドライン・プリンセスクルーズ	ロイヤルカリビアン・MSC・コス タクルーズ・ノルウェー・シヤンクルーズ	ピースボート
施設:カジノ	あることが多い	ある(収益源)	大型施設あり(収益源)	なし
免税店	少ない	大きい(収益源)	多種で大きい(収益源)	なし(コンビニあり)
その他	少ない	やや多い	多種多様な施設	少ない
備考	専属メイドや執事がつ くことあり、4t未満はス モールラグジュアリー、1t未 満はプチクルーズと呼ぶ	ラグジュアリーとカジュアルと の中間カテゴリだった が差別化しづらく減少 傾向	現在超大型船が続々と新 設多様な客層を大量に集 め、廉価な価格で運航。カ ジノや免税店等の利益で 低価格客は利益なしで まわす	客の自主性が非常に 高くレジャー率は高い、 他にはない相部屋制 度で一人客が過半数 を占める

* 1 SSS:70m2以上の高級スイート SS:50m2以上の高級スイート S:一般スイート A:高級バルコニー B:通常バルコニー
C:窓あり客室or高級インサイト D:インサイト

* 2 ～4t:小型 ～8t:中型 ～15t:大型 15t以上:超大型 *ここまで個人的な判断です。

2 最大級客船の歴史と推移

就航年 国 船名 総重量 備考
1912年 英 タイタニック 4.6万t 大西洋に沈む
1940年 英 クイーンエリザベス2(初代) 8.4万t 最も長く世界最大船を維持1972年火災で転覆
* 1980年代末より大型船(現在では中型船)の建造ラッシュが起こる。(飛行機が大陸間移動の
主力となる前は客船が主体であった、その後しばらく大型客船のニーズがなかったが、世界の
裕福層が増え、クルーズ客も増えたことへの対応)

1995年 英 サンプリンセス 7.7万t 現パシフィックワールド号(当船)。QE2が廃船
となっていたため当時最大級の船でした。

* 2000年代から「パナマックス」と言われた客船の縛りを超える大型船が増える。
(パナマ運河を通るため幅32m長さ270m水深14mの縛り)新パナマ運河ができたことや
運河を通ることをあきらめて大型化のメリットを取ったため。

2003年 英 クイーンメリー2 14万t
2006年 米 フリーダムオブザシーズ 16.9万t これ以降全てロイヤルカリビアン社の独占
2009年 米 オアシスオブザシーズ 22.5万t オアシスシリーズとよばれ少しづつ3台が最大更新
‘10アリュール‘16ハーモニー‘17シンフォニー

2022年 米 ワンダーオブザシーズ 23.7万t
2024年 米 アイコンオブザシーズ 25.1万t 乗客定員7600人全長365m幅64m

* 地上最大はファーストワールドホテル(マレーシア)で14700人、日本ではアパ横浜ベイで4620人

3 日本船の比較

日本郵船 飛鳥II ラグジュアリー5万t 乗客定員872人 一泊4.5万～ やや古いがサービスが非常に高い
飛鳥III ラグジュアリー5.2万t乗客定員740人 一泊5万～ 今年新造就航

商船三井 日本丸(3代目) プレミアム規模は4万t程度一泊3.5万～ 老朽船 食は豪華
ミツイオーシャンジ ラグジュアリー3.2万t乗客定員458名 一泊8万～今年就航、オールスイート

* ディズニークルーズが数年後に運航予定、大型カジュアル船になるとのこと

4 世界クルーズ会社別シェア(23年)

- | | | | | | |
|----|---|--------------|---|-----|--------------------------------------|
| 1位 | 米 | カーニバルクルーズ | G | 37% | ・キーン・ドラゴン、プリンセスC、コスタC、ホーランドC等9社のグループ |
| 2位 | 米 | ロイヤルカリビアン | | 24% | ・超大型船を多く保有 |
| 3位 | 米 | ルウエー・ジャンクルーズ | | 14% | ・シングル専用客室等多様な客室が有る |
| 4位 | 米 | MSCクルーズ | | 7% | ・貨物大手のMSCの関連会社 |
| 5位 | 独 | TUIクルーズ | | 4% | ・唯一米国外 |

5 世界クルーズ需要の推移

2019年 2970万人→20年 580万人→21年 480万人→22年 2040万人→23年 3170万人
コロナで大幅に下げた以外は順調に増えている。28年までに3500万を超えると予測されている。
国別乗客ではアメリカ人が過半数、その他欧州人が3~4割程度、その他の地域は1割程度であったが、近年はアジアが伸びている。

6 日本のクルーズ船寄港回数ランキング(23年)

- 1位 横浜 2位 長崎 3位 タイ 広島尾道、神戸 * 外国船籍含めると博多港が最多

7 クルーズの雑学

- ① 世界3大クルーズエリアとは
・ 地中海 カリブ海 アラスカ
- ② 外国船籍が多いわけ
・ 当船はパナマ、外国籍をすると税金が有利・船員の資格や労働条件の縛りがゆるい。
数が多いのは1位リベリア 2位パナマ
- ③ 横浜ベイブリッジの高さの設計基準は
・ 数年前クイーンメリー号が満潮のため橋を通れない事件が発生した。橋下の高さは56mで長く世界最大船クイーンエリザベス2号の高さ52mが基準とされ設計された。現状では超大型船は干満に関係なく通れない。
- ④ クルーズ船に永住することができる？
・ ザ・ワールド(4.3万t)という船は世界初の洋上マンション 分譲110部屋とゲストルーム88室
世界中をクルーズするが年間250日は港に滞在。
- ⑤ クルーズの語源は
ラテン語のクルス(十字架)が語源とされる。これには横切るという意味もあり、16世紀の海賊がジグザグ走行を行うときに使った言葉。
- ⑥ 日本発着クルーズはなぜ外国によるのか
・ 外国船は国内の事業者を守るため、発着が共に日本であると許可されない。そのため外国港を1つはさんで、そこを便宜上発着として申請している。公海上でのカジノの運営のためでもある
- ⑦ 大型船の最新施設
・ シルクドソレイユやブロードウェイミュージカル、アイススケートショーなど専用劇場
ウオータースライダー、サーフィンプール、アクアパーク等プール施設の多様化
LEDスクリーンによる映像、プロジェクションマッピング等最新映像ショー
外部ゴンドラ、子供用遊園地、ゲームセンター等アミューズメント
上記以外にも多種多彩なアトラクションが含まれる船が多く出てきている。
- ⑧ クルーズ船の耐用年数
一般船舶の設計時耐用年数は10~15年と意外と少ない。大型船ほど長くとる。
クルーズ船は機装等非常に高いので、大幅メンテを行い、25年~35年使うものが多い
当船パシフィックワールド号は30歳と人間でいえば後期高齢者の入口に入っているレベル。
* 古い現役客船 超小型船デルタクイーン3360t 1927年就航、シークラウト2532t 1931年就航
小型船 アテナ1.6万t 1948年就航 インデペンデンス3.8万t 1950年就航
エンジンの交換や大幅改修などで人気のある船は100年近い使用例がある。
- ⑨ 季刊クルーズ発表の24年日本人が選ぶ客船ベスト10
1位ダイヤモンドプリンセス 2位飛鳥II 3位クイーンエリザベス 4位MSCヘリシマ 5位ニッポン丸
6位三井オーシャンジ 7位サンプリンセス 8位クイーンメリー2 9位ディスニートリーム 10位ディスニーマジック
- ⑩ 同上世界のクルーズ船人気寄港地ランキング
1位バルセロナ 2位チビタベックア 3位マルセイユ 4位ジェノバ